

レジャーダイビング認定カード普及協議会  
(Cカード協議会)

2010年6月定例会議議事録

◎ 開催期日：2010年6月9日（水） 午後16時00分より

◎ 開催場所：(株)PADI JAPAN 会議室

◎ 出席者（アルファベット順：敬称略）

☆CMAS=JEFF	株式会社ジェフ	後藤	勝之
☆DACS	セントラルスポーツ株式会社	市原	隆久
☆PADI	株式会社パディジャパン	中野	龍男
☆SSI	株式会社SSIジャパン	栗山	禎尚
☆STRAS	水中活動研究所有限会社	岡本	康男
☆JP	JPインターナショナル	田中	大祐
☆オブザーバー	静岡県ダイバーズ協議会	渡辺	守 我妻 亨

1. 進行／記録：事務局 宗田

2. 定例会議事

① 第一号議案：ガイドダイバーの定義の件

- 事務局より、ガイドダイバー定義を文章化した資料が提出され、その内容について審議された

- 決議事項：ガイドダイバーの定義は、ISO基準に準ずるものとし、既存のC協採択規準内ダイブ・スーパーバイザー資格認定のための最低指導基準(P9)がISO基準を満たす内容か否かを精査し、修正する事となった。また、ガイドダイバーの定義は同修正後のC協採択基準をもって定義とすることになった。

② 第二号議案：その他

- 静岡県ダイバーズ協議会渡辺氏より、今期の伊豆半島の動向に関する報告があった。報告内容は以下の通り
  - 特に東伊豆の現状として、海洋公園は来客数4割減、東伊豆全体的にGW後の東伊豆エリアのダイビング入域者数が激減している
  - このままの状況が継続する事は、現地サービスにとって死活問題となる
  - ダイビング業界全体で、上記状況の打開策を考えて欲しい
- 決議事項：C協として状況を理解した上で、業界内他組織（レジャーダイビング産業協会、連合会他）全体で、検討していく事となった

以上